※令和４年度以降入学生用

学校番号	106

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	（学）実用書	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書写学習を基礎として、正しく整えて速く書く書写能力を伸ばす。
正しい字形を知り、楷書、行書、草書を生活の中で活かす態度の育成を図る。

2　学習の到達目標

手書き文字の創造的な諸活動を通して、手書き文字に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の手書き文字の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 漢字の部分の名称と実用として用いられる楷・行・草書体、および平仮名・片仮名の正しい字形、および章法について理解を深めるとともに、整えて速く書く技術を身に付けるようにする。

(2) 手書き文字の良さや美しさを感受し、日常生活の場面に応じた表現を工夫したり、手書き文字の意味や価値を考え、手書き文字の味わいを深く捉えたりすることができるようにする。

(3) 主体的に、日常生活の場面に応じた手書き文字を表現することができるようにする。
手書き文字を鑑賞し、実用書の効用に気づき、興味・関心を深めることができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・漢字の部分の名称や、楷・行・草書体、および平仮名・片仮名の正しい字形、章法にについて理解を深めている。 ・楷書や行書、平仮名、片仮名を整えて速く書く技術を身に付けている。	・手書き文字のよさや美しさを感受し、日常生活の場面に応じた表現を工夫している。 ・手書き文字の意味や価値を考え、手書き文字の味わいを深く捉えたりしている。	・主体的に、日常生活の場面に応じた手書き文字を表現することができる。 ・手書き文字を鑑賞し、実用書の効用に気づき、興味・関心を深めている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	平仮名・片仮名	・平仮名と片仮名の成立と、造形の成り立ちを理解し、整えて早く書く技術を身に付け表現する。	a:平仮名と片仮名を構成する要素を理解している。(知) a:字形、構成等の要素と表現効果との関わり、手書き文字の美について理解を深めている。(鑑・知) a:平仮名と片仮名を整えて、早く書く表現の技能を身につけている。(技) b:平仮名と片仮名の手書き文字のよさや美しさを感受し、意図に応じた手書き文字の表現を工夫している。 b:手書き文字の生活や社会における美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えたりしている。(鑑) c:主体的に平仮名と片仮名を日常生活も場面に合わせた手書き文字を表現することができる。 c:主体的に平仮名と片仮名の鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑)	作品	プリント	振り返り 観察
	漢字	・楷・行・草書体の成立と、造形の成り立ちを理解し、整えて早く書く技術を身に付け表現する。	a:楷・行・草書体を構成する要素を理解している。(知) a:字形、構成等の要素と表現効果との関わり、手書き文字の美について理解を深めている。(鑑・知) a:楷・行書体を整えて、早く書く表現の技能を身につけている。(技) b:楷・行書体の手書き文字のよさや美しさを感受し、意図に応じた手書き文字の表現を工夫している。 b:手書き文字の生活や社会における美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えたりしている。(鑑) c:主体的に楷・行書体を日常生活も場面に合わせた手書き文字を表現することができる。 c:主体的に楷・行・草書体の鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑)	作品	プリント	振り返り 観察

※令和４年度以降入学生用

2学期	章法	・手書き文字を日常生活の場面に応じた全体の構成と、行を構成する様々な要素を理解する。	a:日常生活の場面に応じた手書き文字を構成する要素や、全体の構成、行との関わりについて理解している。(知) a:字形、構成等の要素と表現効果との関わり、手書き文字の美について理解を深めている。(鑑・知) a:手書き文字を日常生活の場面に応じた効果的な表現の技能、全体の構成と行を構成する様々な技能を身につけている。(技) b:日常生活の場面に応じた全体の構成や行について構想し工夫している。 b:手書き文字の価値と、生活や社会における手書き文字の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えたりしている。(鑑) c:主体的に手書き文字の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に手書き文字の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑)	作品	プリント	振り返り 観察
3学期		・目的や用途、表現形式に応じた全体の構成と手書き文字を構成する様々な要素を理解する。 ・感興や意図に応じた、漢字と仮名の調和等による、全体の構成を工夫しながら、表現する。	a:日常生活の中での手書き文字を構成する要素や、現代の手書き文字の表現について理解している。(知) a:字形、構成等の要素と表現効果の関わり、手書き文字の特質とその歴史、手書き文字と筆者などとの関わりについて理解を深めている。(鑑・知) a:目的や用途、意図に応じた効果的な手書き文字表現の技能、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身につけている。(技) b:目的や用途、表現形式に応じた全体の構成、現代に生きる創造的な表現について構想し工夫している。 b:手書き文字の価値とその根拠、生活や社会における手書き文字の美の効用と現代的意義について考え、手書き文字のよさや美しさを味わって深く捉えたりしている。(鑑) c:主体的に手書き文字の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に手書き文字の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑)	作品	プリント	振り返り 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度